

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中堀地区の歴史を知る (世界かんがい施設遺産 拾ヶ堰にはぐくまれた信州 安曇野中堀のあゆみ)
事業主体 (連絡先)	中堀地区の歴史を知る会 安曇野市堀金烏川 3645-1
事業区分	教育文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,342,525 円 (うち支援金: 1,074,000 円)

#### 事業内容

世界かんがい施設遺産である拾ヶ堰は、その功績として長野県一ともいえる穀倉地を生み出している。その営み等を後世に伝えるため、講演の開催や資料を収集し書籍として残すなど、地域にとどまらず、広く普及・発信に努める。また、それらの活動を通じ、来訪者の増加や移住・定住促進に貢献するとともに、広く市民の誇りとして伝承し、安曇野市にとどまらず広域での交流活動にも役割を果たすことを目的とする。

#### 事業効果

・地域の歴史や営み、文化の再認識と資料保存により後世にそれを伝えていくことを目的として地域の調査結果やお借りした資料を基に、中堀地区の歴史を、拾ヶ堰を中心とした書籍として編纂し、700部作成。

講演会で使用するとともに、区民、小中学校等に配布し、活用した。

・新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、地域の歴史を研究するシンポジウム、広報活動を積極的に行い、以下のような結果となった。

シンポジウム・講演会 のべ参加者 130名

地区講座 参加者 46名

出版記念講演会 参加者 88名

これにより、多くの方へ拾ヶ堰を含めた地区の歴史や文化を伝えることができた。

※地区講座はまん延防止等重点措置が発令されたため一部開催中止となった

#### 今後の取り組み

- ・冊子を中心に地域の方々との交流を深め、継続して探求と普及に努める。
- ・中堀地区の歴史を知る会と小中学校・PTAや公民館活動との連携した取り組みによるイベントの開催として、地域の歴史文化財や屋敷林を見て歩く講座を教育委員会や郷土博物館関係者の協力の下実施していく。
- ・中堀の宝、安曇野の宝として拾ヶ堰関係者とかんがい施設遺産の普及に努める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



出版記念講演

#### 【目標・ねらい】

- ① 地域の歴史を知る
- ② 地域の営みと共有財産の普及
- ③ 講演を通じての地域の歴史遺産の情報発信
- ④ 冊子を通じた地域の活性化

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

歴史遺産や地域の営みを再認識することができたとともに、地域への愛着を深めることができた。  
多くの方にイベントに参加していただいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小したり、一部の講座が中止となった。